

大阪市議員 **とこだまさかつ** 市政報告第17号

発刊日 H26.1

淀の大放水路・浸水対策版



現職（平成25年11月20日現在）

自民党

- ・自民党 政令指定都市議会議員連盟 大阪市代表
- ・自民党大阪府連
- ・自民党大阪府連 党紀委員長
- ・自民党大阪府連 青年局長
- ・自民党大阪府連 青年局顧問
- ・自民党東淀川支部
- ・自民党大阪府連 東淀川支部長

大阪市会

- ・議会改革推進会議 委員
- ・自民党大阪市議員団
- ・教育子ども委員会 自民党大阪市議員団 代表

その他

- ・自衛官募集相談員
- ・NPO法人日本防災士機構 防災士

他にも多数の役職を拝命し活動中！

東淀川区での浸水被害ゼロをめざして全力で取り組みます！

皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素よりあたたかいご理解とお力添えを賜り、誠にありがとうございます。
大阪市（大阪平野）は淀川などの沖積平野で、上町台地などを除いて市内約90%がポンプ排水に頼らなければならない雨に弱い地形です。
大阪市の下水道は、10年に1回の大雨（1時間60mm）に対応するための抜本的な浸水対策として平成3年度より「淀の大放水路」やポンプ場新增設を進めていますが、近年頻繁に発生している「集中豪雨」により浸水被害が発生しています。
そこで、国土交通省に行った要望活動・大阪市の新たな浸水対策のご報告とともに、現在の東淀川区の浸水対策の確認と私たちにできることを市政報告新聞にまとめてみました。
今後大阪市・東淀川区の発展のために全力で頑張る決意であります。
赤ちゃんからお年寄りの方まで、笑顔と笑い声のたえない東淀川区を皆様と一緒につくっていきたくて考えております。さらなる支援の輪を広げていただき、引き続きのご指導を宜しくお願い致します。

大阪市議員 床田正勝

私は都構想に**反対**です。

大阪市はひとつ

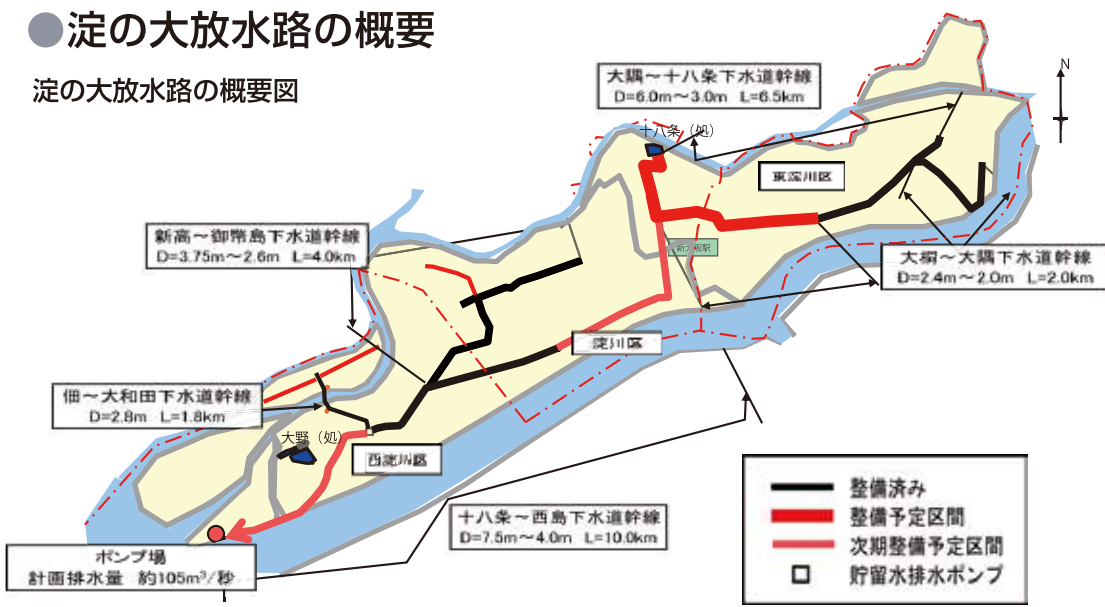


東淀川区を無くさない

東淀川区の浸水対策

● 淀の大放水路の概要

淀の大放水路の概要図



【全体概要】

淀の大放水路は、東淀川区・淀川区・西淀川区の3区にまたがる最大内径7.5m、総延長22.5kmの下水道幹線であり、淀川以北の抜本的な浸水対策として、平成3年度から建設が進められています。

【整備状況】

総延長22.5kmのうち、11.2kmの区間の下水道幹線が完成しており、幹線整備延長の率としては約50%となっています。現在、大隅～十八条下水道幹線の建設工事を進めており、平成35年度に完成予定としています。

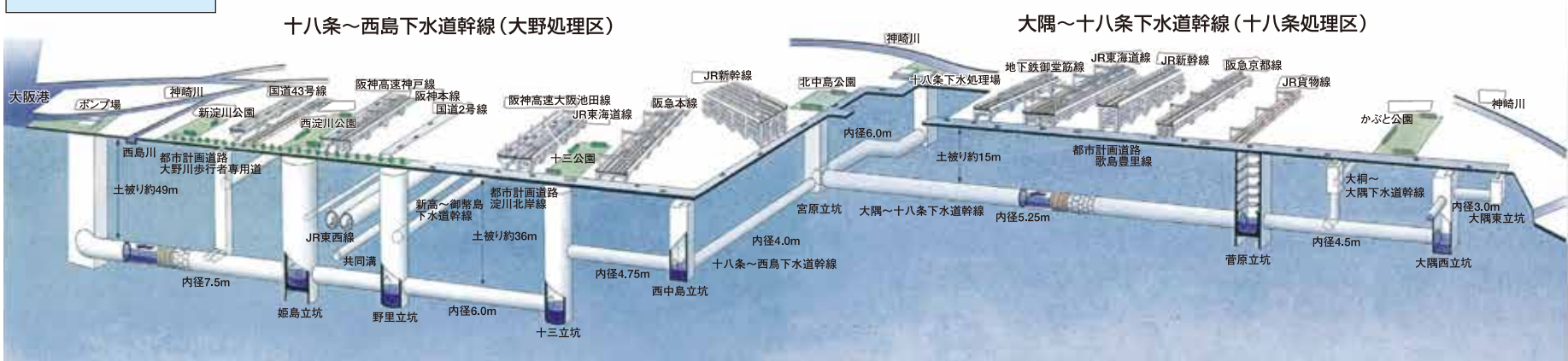
【施設活用】

全体計画の完成までには長期間を必要とすることから、工事の完成した区間から暫定的に雨水を一時的に貯留して大雨時の浸水の緩和を図っており、現在、約14.5万m³の雨水貯留が可能となっています。

【東淀川区における淀の大放水路貯留状況】

平成24年8月及び平成25年8月の集中豪雨により、建設が完了している大隅十八条幹線、大隅大隅幹線の暫定貯留（40,000m³）は、最大貯留量を貯留しました。

淀の大放水路



● 近年の集中豪雨の特徴

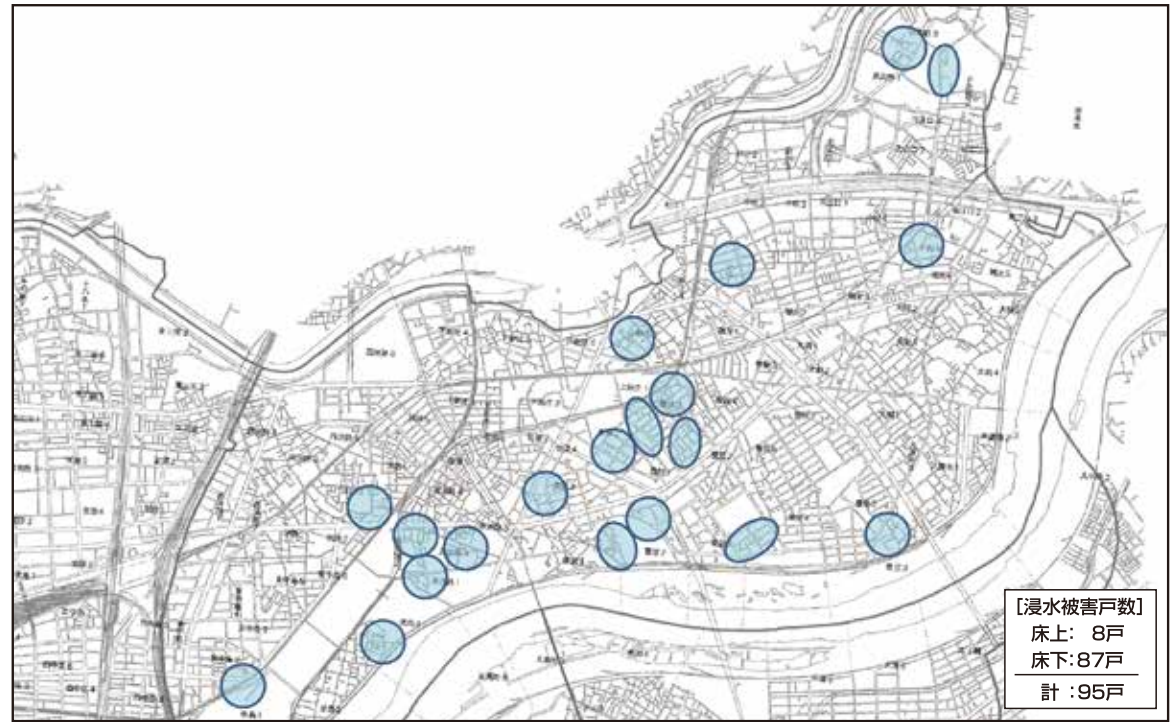
平成23年8月27日に大阪管区気象台の観測史上最大となる1時間77.5mmの激しい雨が降り、市域で床上浸水104戸を含む1,888戸の浸水被害が発生しました。また、平成24年8月には、建設局雨量計データの市域最大で1時間94mmの激しい雨が降り、市域で床上浸水延べ109戸を含む延べ1,604戸の浸水被害が発生しております。

東淀川区における近年の浸水被害

年月日	10分間降雨	1時間降雨	※浸水戸数
H24.8.13～14	21.5 mm	62.0 mm	446
H24.8.18	22.0 mm	42.5 mm	26
H25.8.25	21.0 mm	55.0 mm	95

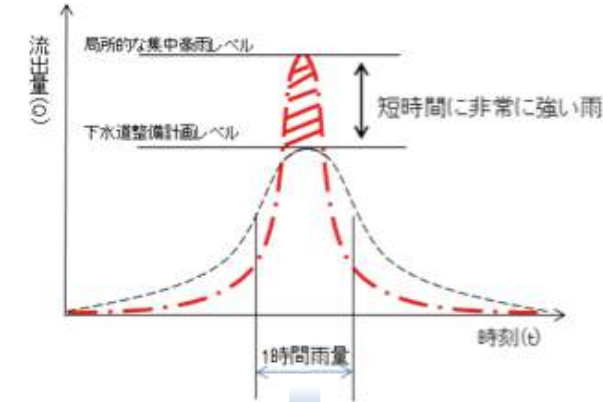
※浸水戸数については建設局調べ
降雨量については、国次抽水所雨量データ

東淀川区（平成25年8月25日 浸水被害箇所図）

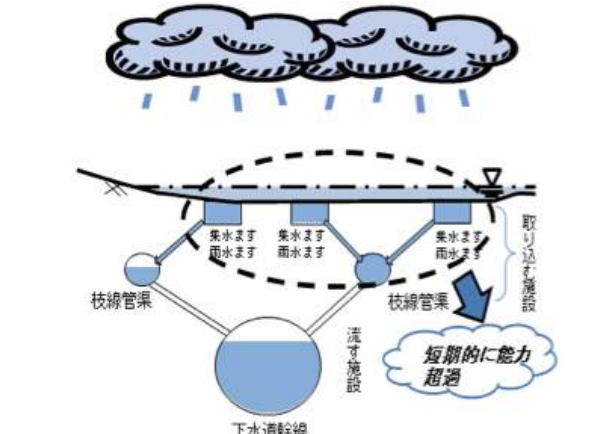


短時間降雨（集中豪雨）における浸水イメージ

＜下水道計画降雨と集中豪雨のイメージ＞



＜短時間降雨における浸水イメージ＞



【短時間降雨（集中豪雨）における浸水の特徴】

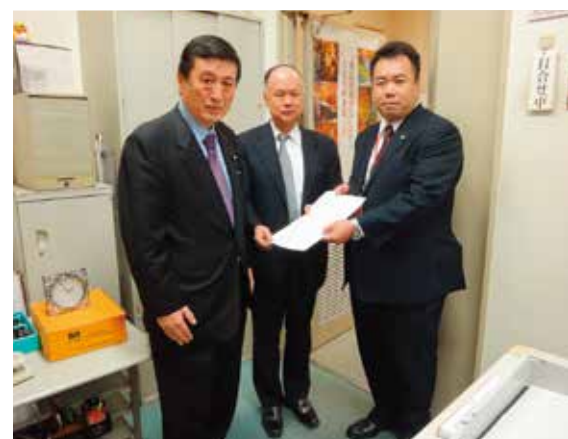
短時間に非常に強い雨が降るため、「ます」や「枝線管渠」で一時的に排水能力を超えることにより、道路上などに水が溜まり、低地やくぼ地に集まることで浸水する場合があります。

要望の主な内容

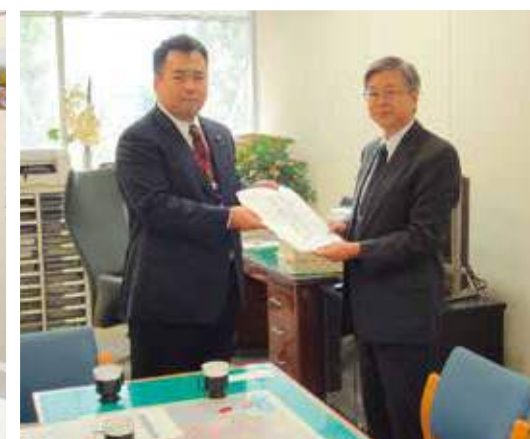
- 近年の集中豪雨への国の解決方針と早期の対策
- 淀の大放水路事業の早期完成にむけ予算拡大と補正予算への組み込み
- 東淀川区の浸水被害の原因調査と対策事業費への予算
- 大阪市で集中豪雨発生時状況の早期情報共有と対策立案
- 大阪市との定期的な情報交換・意見交換
- 一斉に発生する市内老朽化下水管改築事業への予算措置（あわせて、11月29日 大阪市会本会議において「老朽化した下水道について緊急かつ集中的な対策の強化を求める意見書」を採択しました。）

● 国への要望

大阪市の安全で安心して暮らせるまちづくりを目指す総合的な浸水対策を推進し、東淀川区の浸水被害軽減のための必要な事業費を確保するため、平成25年11月5日に柳本卓治参議院議員とともに国土交通省で要望活動を行いました。



国土交通省 水管理・国土保全局の森北局長に、柳本参議員と共に要望



国土交通省 水管理・国土保全局の下水道部長 岡久部長に要望



国土交通省の下水道担当の皆様へ東淀川区の現状を報告し予算要望を行いました

● 大阪市での新たな取り組みを実現しました！

東淀川区の集中豪雨被害軽減に向けて「点の対策」と「面の対策」に取り組んでいます。

【点の対策】

雨水の集水不良などが要因となっている地区

- 「ます」の増設・改良
- 「横断側溝・縦断側溝」の設置など



【面の対策】

- 下水道管の能力不足などが要因となっている地区
- 枝線管渠のネットワーク化
- 貯留施設の整備など



● 私達の身の回りで出来ること

大雨による浸水の被害を軽減するためにも防災に対する皆さまの日頃からの備えが大切です。身の回りで出来ることからご協力を宜しくお願いします。

- 「ます」を植木鉢などでふさいだりしない
- 「ます」にごみや砂を掃きこんだりしない
- 大雨の時には、「洗濯をしない」、「お風呂の水を流さない」等、多くの水を流さないように努める

